

かけはし

第14号 平成6年5月30日発行
発行 千代田区教育委員会



満開の桜の下で（昌平小、入学式）

- 主
な
記
事
- ☆子どもたちの元気な声が
—平成6年度スタート—
 - ☆こんな学校にしたい
—児童・生徒代表のことば—
 - ☆子ども水泳教室のご案内
 - ☆まごころこもった「あったか米」が給食に

入学式の後、校庭の満開の桜を
バックに記念写真を撮りました。

朝からずっと緊張していたので、
少し疲れましたが、これから先生
やたくさんのお友達と楽しく過ご
したいと思います。

*教育広報「かけはし」は資源保護の
ため再生紙を使用しています。

子どもたちの

元気な声が

平成六年度スタート



入学・進級

四月、満開の桜の下で新入生を迎え、平成六年度の教育活動がスタートしました。年度当初における在籍者数は、前年と同様減少傾向にありますが、子どもたちは気持ちも新たに、学校（園）生活を送っています。

平成6年度 学級数・在籍者数等

平成6年4月6日現在
(幼稚園は4月11日現在)

区 分	学級数	新入生数	前年度比	在籍者数	前年度比
幼稚園	33	123	△31	423	△84
小学校	107 (4)	429 (0)	△45	3317 (19)	△190
中学校	54 (1)	538 (1)	△36	1866 (4)	△374

()内は鎌倉臨海学園及び心障学級、外数 △印は減

教育予算

総額

六五億七、五六六万円

三月の区議会定例会において議決されました。このうち、子どもたちの学習に関連の深いものについてご紹介しましょう。

★自然体験・移動教室・夏季施設関係
八、四七三万円

小学校は鎌倉・箱根・嬬恋、中学校は軽井沢・保田で実施される、宿泊を伴う行事の予算です。

★複合施設建設関係 一〇億五、一九二万円

昌平・千代田小学校の新校舎となる複合施設（外神田、神田司町）や、総合文化施設（小川町）の建設等にかかる経費です。教育条件整備、生涯学習振興の一環として、重点施策とされています。

★コンピュータ活用に関する経費

五、一〇六万円

中学生を中心に、情報教育の充実に必要な経費です。

★施設改修

四億二、一一二万円

幼稚園、小・中学校の校舎や校外施設の改修、環境整備、安全確保の徹底を図るものです。

★備品整備

八、七一一四万円

学習活動の効果を上げる教材・教具、給食、保健関係の備品を調達・購入します。学校ごとに計画的に執行します。

★海外交流・国際理解教育

八七四万円

区立小学校児童と近隣の外国人学校児童との交流も含め、各校の資料の充実・整備を図ります。これまでの本区における実績を、さらに充実・発展させるものです。

千代田区教育委員会の教育目標

千代田区教育委員会は、教育基本法に即し、「教育と文化のまち千代田区宣言」の趣旨を踏まえ、来るべき21世紀に向けて千代田区の教育の歴史と伝統を継承・発展させ、心身ともに健康で千代田に誇りと愛着を持つ人間性豊かな区民の育成を目指す。そのため、社会の変化に対応しつつ、区民が生涯を通じて主体的に学ぶことができる諸条件を整備し、もって、個性豊かな文化の創造・発展と豊かな千代田区の形成に貢献することを期して、次の視点を基本として、本区の教育を推進する。

1. 本区における高齢化、情報化、国際化など、社会の急激な変化に伴う区民の学習需要に対応し、家庭教育、学校教育、及び社会教育・社会体育を充実し、相互の密接な連携を図り、区民の生涯にわたる学習意欲に応える。
2. 学校教育においては、個人の尊厳を重んじ、自発的・自律的精神を養い、心身ともに健全で、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる区民の育成を目指し、生涯学習の基礎を培う。とりわけ、教育条件整備にかかる新たな学校の円滑な運営を進めていくとともに、時代の変化に即した教育内容の充実に一層努力する。
3. 社会教育・社会体育においては、区民の生涯を通じた自己実現と生きがい意欲の醸成を図り、あらゆる機会や場を活用し、区民の多様な学習意欲を充足することのできる諸施策の推進を図る。また、公共施設適正配置構想に基づく生涯学習施設の充実を図り、より一層学習機会や場の提供を図る。

教育委員紹介

長年、教育委員としてご尽力された藤井康男氏が任期満了のため退任され、新しく曾根史子氏が就任いたしました。従って、今年度の教育委員会は次のような構成になり、二十一世紀に向け、さまざまな教育課題に対して、前向きに対応してまいります。



教育委員長
小林 泰 而



教育委員長職務代理
横山 安 宏



教育委員
栗 岩 英 雄



教育委員
曾 根 史 子



教育委員(教育長)
井 澤 一 弘

和泉幼稚園に 専任園長誕生

これまで、千代田区立の幼稚園は、すべて小学校長が園長を兼任していました。本年四月一日より、長時間保育を行っている和泉幼稚園に専任の園長が置かれ、初代園長には、佐瀬スミ子先生が就任しました。今後、千代田区の幼稚園は、小学校との連携を一層深めながら、急速な社会の変化に対応して、創造的な経営を進めていくことが求められています。



小学校

責任を果たす

麴町小学校 安藤 俊平

ぼくが代表委員の一員としてがんばろうと思うことは、学校の代表としての自覚を持ち、いろいろな行事や集会の責任を果たすことです。活動を進めていくうちには、様々な問題があるでしょうが、自分なりに一生懸命がんばりたいと思います。

ぼくは、このような大役を務めるのははじめてなので、とても緊張すると同時に、大きな責任を感じています。

麴町小学校がさらに明るく楽しい学校になるように、全力を尽くしたいと思います。

積極的な学校生活

九段小学校 西本 信一

五年生の時のことを振り返ってみると、ぼくは、代表委員になって何かの行事をやるときでも「誰かがやってくれるからいい」と思っていました。

けれども、六年生になった今、僕たちが最上級生です。五年の時とは気持ちを入れかえ、がんばりたいと思います。

去年は、かぜやぜん息で何日間か学校を休みました。そこで、今年は自分の体を鍛え、「九段フット」のキャプテンとして、みんなを引っ張っていけるような、積極的な学校生活を送りたいと思っています。



こんな学校にしたい

子どもたちは、学校生活をより充実したものにするために、個人や学級・学校の一員として、自らの目標を決め、実行に移しています。そこで、各小・中学校の児童・生徒に今年度の抱負を聞きました。

積み上げる学校づくり

お茶の水小学校 坂本 倫哉

去年は、二校の交わりと新たな土台づくりの第一歩に取り組みました。今年は、その土台の上に、水・土曜日のシヨート集会は引き続き行くとともに、ファミリー班（一年から六年までの縦割り班）の活動を多く持つ計画です。

そして、代表委員会はリサイクル、ボランティア活動を実践していききたいと考えています。

また日常生活では、昨年度に続き「正しい言葉づかい」を実践し、みんな、さらに明るく楽しい学校を作り上げていきたいと思っています。

全校のみんなが仲良し

千代田小学校 上田 孝典

ぼくたちは、千代田小学校を楽しく明るく学校にしたいです。全校のみんなが仲良くなれるように、全校



集会の計画を立てています。一年生から六年生まで、みんなが一緒に楽しめるように、工夫していこうと思っています。

また、全校の緑を増やすために、グリーンマークを集めたり、ユニセフ募金などとして、外国の恵まれない人達を助けたいと思います。

このようにして、みんなに千代田小学校の思い出を、少しでも多く作ってもらいたいと思っています。

最上級生として

番町小学校 谷口 奈々

桜の花びらが舞うなか、私たちは大きな希望に胸をふくらませ、新しい学年に進みました。私たち六年生には小学校最後の年ですが、一年生にとっては新たなスタートをきる年です。

私の目標は、決めたことは最後までやり遂げるということです。また、最上級生として下級生をリードしていきたいと思っています。

今年番町を巣立っていった卒業生が私たちに託してくださった夢や希望を、今度は私たちが未来に託す番です。



国際交流を通して

富士見小学校 岡田 剛

富士見小学校は国際的になり、リセ・フランコジャポネ校のお友達や外国のお客様がたくさんいらつやいます。様々な行事などを通して、このようなお客様と一緒に楽しく交流することは、ぼくたちにとつて、貴重な経験になっています。

また、他の学校では味わえない英語の勉強や、いろいろな遊びも楽しくやっています。こうしたことをぼくたち六年生が中心になって進めています。

これからもみんなで考え工夫して、ますます楽しい学校にしていきたいです。



仲良く楽しい学校づくり

和泉小学校 山崎由紀子

私は和泉小学校を、休み時間は異学年の人が一緒に遊べたり、高学年が低学年をリードして楽しい集会を作り上げていったりできる学校にしたいと思っています。

そして私は、自分の考えをみんなの前で自信をもって言っていきたいと思っています。それが、楽しい学校づくりにつながっていくのだと思います。今年一年間は、いろいろな大変になるかも知れませんが、代表委員としても責任をもってがんばっていきたいと思っています。

明るく楽しい学校

昌平小学校 大久保智央

ぼくはこの四月、児童会の運営委員長になりました。これからは学校の中心になって活動していかなければなりません。

一年生をはじめ六年生までのたくさんの人達が、明るく楽しく過ごせる昌平小学校にしていきたいと思っています。

全校遠足や全校運動日など、縦割り班の活動がたくさんあるので、リーダー会議を開き、他の六年生と協力していきたいと思っています。

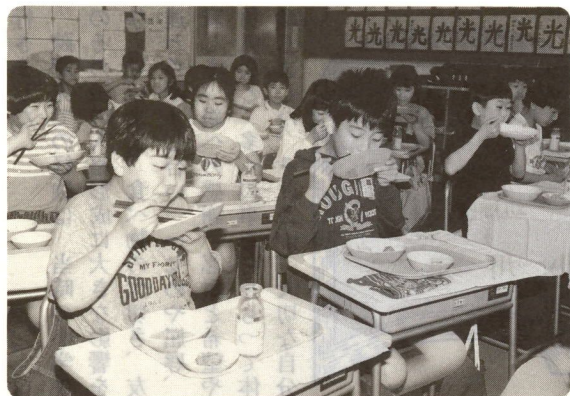


今年こそ泳ぎをマスターしよう！

子ども水泳教室のご案内



と き 平成6年7月6日(水)、7日(木)、8日(金)、12日(火)、13日(水)の5日間 午後3時～5時
 と ころ 千代田区立総合体育館 プール
 参加資格 区内在住、在学の小学生で、初心者(全く泳げない児童も歓迎します)
 定 員 100名(申し込み多数の場合には抽選になります)
 参加費 無 料
 申込方法 往復ハガキに「子ども水泳教室希望」と明記。住所・氏名・性別・年齢・学校名・学年・電話番号を記入し、郵送してください。
 申込締切 6月24日(金)
 申 込 先 スポーツ振興課事業係(〒101 内神田2-1-8 総合体育館内) ☎(3256) 8444



五城目町の皆さん ありがとう！ まごころこもった 「あったか米」が給食に

去る三月十八日、千代田区の姉妹都市である秋田県五城目町から、地元でとれたお米八三〇kgが区に届けられました。このお米は、米不足を心配した五城目町の皆さんが、千代田区のために自分たちの家から持ち寄って下さった心あたたまる贈り物。区では、「あったか米」と名づけられたこのお米を、学校・保育園の給食や高齢者への給食サービスなどに活用することにしました。

小・中学校では、「あったか米」が新学期早々に給食に登場しました。子どもたちは、先生から説明を聞いて五城目町の皆さんの善意に感激。お米のありがたさを改めてかみしめていました。

五城目町のみなさんへ

五年 桜井 あゆみ

五城目町のみなさん、とてもおいしいお米をどうもありがとうございます。給食で、ほだてごはんとして食べました。ごはんは、残さずみんな食べました。校長先生から「五城目町あったか米」というお話があったので、最初は何だろうと思っただけで、とてもありがたいお米だということがわかりました。あったか米は、とても心がこもっていて、名前のとおりにあたたかかったです。ふつうのお米とは味がちがいました。あの味は一生忘れません。

五城目町の皆さん、おいしいお米をありがとうございました。今は米不足ということが問題になっていますが、皆さんからお米をいただいたことを聞いてびっくりしました。私は、ご飯が好きで、家ではほとんどご飯です。学校では、時々残してしまうこともあるけれど、ほとんどしっかりと食べています。今まで当たり前のように食べていたお米も、こういう問題になると、毎日食べるのができる私たちは、すごく幸せなことだと思います。お米を食べられるのも、たくさんの方の努力でやることができることです。これからは、このようにみんなが協力して初めて実現できるものを大切にしたいと思っています。(練成中学校)

中学校

充実した学校生活を目指して

麹町中学校 平岡 征時

僕達の今年度の活動方針は、「学校行事とボランティア活動の活性化」です。充実した学校生活を送るために、この二点に力を入れて、全校生徒をリードしていきたいと思っています。学校行事では、それぞれ実行委員会を組織して本部役員と協力し合い、生徒全員が楽しめるものにしていきます。また、ボランティア活動では、月に一週間のアルミ缶回収週間を設け、収集活動をさらに盛んにする等工夫しながら、皆でボランティア精神の大切さを考えていきたいと思っています。

団結して活気に満ちた学校を

九段中学校 朝倉 寛子

私達九段中学校は「みつばち精神」に基づいて、全員が自主的に、そして団結して頑張っています。



本年度は、さらに団結して活気に満ちた学校にしたいと思っています。また、九段中学校の生徒会では、「意見箱」を設置しています。生徒全員が充実して楽しい学校生活を送れるように、校則で疑問に思うこと、取り入れてほしいことなどを取り入れてもらうように呼び掛けています。これからは、もつと意見箱を生かして、さらに良い学校にしていきたいと思っています。

日本一の学校に

一橋中学校 関屋 景

毎年我が校では、先生方と生徒とが「日本一の学校にする」という目標を掲げています。

この目標を達成するための一つとして、「挨拶」の励行に特に力を入れて頑張っています。これは極めて当たり前のことですが、人と人との出会いに欠くことのできない重要なことであり、これによって、学校がスムーズに、秩序正しくなると思っています。うわべだけのものではなく、自然と心の底から出る挨拶です。挨拶から始まる会話によって、一人でも多くの友人をつくりたいと考えています。

生徒一人一人の声を聞いて

今川中学校 副島 聡

今川中学校の良さは、生徒たちがまとまって行動ができること、人数が少ないため、先生方を含めて皆がすぐ親しくなれることです。

生徒会としても、生徒総会や各種委員会の活動に意欲的に取り組んでいます。生活面を見ると、細かい点ではいろいろな反省点があり、百パーセントの良さとは言いません。そこで、今年は生徒一人一人の声を

を聞くために、アンケートを行い、問題点を整理しながら生活の立て直しをし、今まで以上に学校全体を盛り上げていきたいと考えています。



生徒とのつながりを大切に

練成中学校 渡辺 一充

今年の生徒会の取り組みは、次の三点でレベルアップを図ります。

一、生徒と生徒会とのつながりを大切にします。

二、普段の挨拶に重点を置く。

三、伝統のある奉仕活動である第三土曜日の秋葉原周辺の清掃に力を入れる。

このような日常的な活動に重点を置き、「生徒会が何かをするのではなく、全生徒がつくりあげる生徒会」づくりを進め、何事にも新しい気持ちで挑戦する生徒会であり、学校にしていきたいと思っています。

随想

きょういく

どのような時代であれ、多くの親は我が子に対して、将来一人前の社会人として自立し、家族を養い、人々と協力して、健康で生きがいのある生活をしてほしいと願うものです。そして、自分の来し方を振り返り、今日の自分をあらしめてきた大きな転機とか自己に目覚めたきっかけを深く思い起こし、わが子の子育てに生かすよう努めています。

Kさんは先年、長年勤めた会社を退職されました。同じ疎開世代で、家は焼かれ親を早く亡くすなど似たような道を歩んで来ましたので、心が通じます。若い時、エコノミックスアニマルとか働き蜂とか陰で言われながらも、海外で、まさに輸出の先兵として戦後の経済復興に力を尽くしました。海外に出かけるときのことです。わたしが教員だからという事で、「小学生の我が子を日本人学校に入れるべきか、現地の公立学校に入れたらよいか」と、相談を受けました。わたしは「親元を離れて疎開した経験を思いだそうよ。」と即座に答えますと、「現地の学校だな。ありがたい。」と手を握り、旅立って

行きました。

疎開先での経験は、当時の小学生のその後の人格形成に大きな影響を与えています。食べ物大切さ、友達との励まし合い、いじめや屈辱、寂しさ、親への感謝、忍耐と希望や勇気など、多くの事を身をもって体験しました。それらが、大切な自分

体験の大切さ



富士見小学校長
幼稚園長
同

小川 完二

の財産となり、強くたくましく希望をもって生きようとする大きなエネルギーとなってきたのです。

子供のころの苦しいつらい体験は、子供の心を強くします。しかしそこには、親や周りの大人の厳しくしかも温かい愛情の裏付けが欠かせません。日本には昔から「かわいい子に

は旅をさせよ」ということわざがあります。旅は、家を出てよその土地へ行き働くことで、きわめて苦しいつたに違いありません。本当に子供を愛するならば、目先の愛情にとらわれずに親の庇護から離れ、苦勞を嘗めてはじめて大きく成長するものだ、という先人の長い間の経験から得られた結論とも言えます。

物が豊かで、そのうえ少子化の時代、ややもすると過保護、過干渉になりがちです。二十一世紀を目前にして、世の中の進歩・変化はますます加速されていくでしょう。単なる知識の記憶だけでは、変化に対応できません。釣った魚を千匹与えるよりも一匹の魚をつる釣り方を身につけることが、人生を創造する鍵であるといえます。学校では、体験的な活動をととても重視しています。体験を通して、学ぶ意欲や楽しさ・苦しさを得し、未来を切り開く学び方や生き方を身につけていくのです。

おがわ かんじ
区立小学校長
区立幼稚園長

随想

わがこころ

編集後記

新たな学校（園）として二年目を迎えた幼稚園・小学校、新教育課程実施第二年目となる中学校とも、平成六年度は、教育活動を一層充実する年です。

各校（園）では、入念に準備を進め、順調にスタートしました。

その意気込みは、児童・生徒代表の「こんな学校にしたい」の言葉にも表れています。

国際社会は、民族間の紛争、不況、食糧危機など、厳しい情勢に直面しています。国内においても様々な課題を抱えています。次代を担う子どもたちの育成のために、本年度も、学校・家庭・地域・行政機関が力を合わせていきましょう。

その架け橋となる「かけはし」についての皆様のご意見・ご感想・ご要望をお寄せください。お待ちしております。

教育広報「かけはし」第十四号
平成6年5月30日発行
編集発行／千代田区教育委員会
〒102 千代田区九段南1-6-11
☎(03)694-0151 内3114